

I 重点目標

本市の現況を踏まえ、行政改革を効果的に進めるため、特に重要な取組事項に具体的な数値目標等を設定し、積極的に取り組みます。

1 財政に関する重点目標

将来にわたる財政の健全性を保つために

① 実質公債費比率の抑制

借入金（地方債）の返済額及びこれに準じる額の大きさを指標化したもので、数値が大きいほど資金繰りが厳しいことを示しています。

引き続き安易な発行を慎むほか、繰上償還を実施するなど市債残高を低減し、実質公債費比率を10%未満で堅持していきます。

【目標】市債残高を低減させ、実質公債費比率10%未満を堅持します

	参考		目標			
	H25 (実績)	H26	H27	H28	H29	H30
実質公債費比率	8.1%	8.0%	10%未満			
中核市平均	8.3%					
市債残高	2,378億円	2,331億円	前年度残高よりも削減			

② 経常収支比率の抑制

地方公共団体が社会経済や行政需要の変化に適切に対応していくためには、財政構造の弾力性が確保されなければなりません。引き続き、職員定数の適正化や一般行政経費の節減、公債費の抑制などに取り組み、経常収支比率[※]を中核市平均を下回る90%未満で堅持していきます。

【目標】 経常収支比率 90%未満を堅持します

	参考		目標			
	H25 (実績)	H26	H27	H28	H29	H30
経常収支比率	88.6%	88%台	90%未満			
中核市平均	89.9%					

※経常収支比率…経常的に収入される一般財源が、人件費、扶助費、公債費等の義務的性格の経常経費にどの程度充当されているかを示す割合です。この比率が高いほど財政構造に弾力性がなく硬直化していることを示します。

③ 市税収入の確保

社会保障費[※]の増嵩をはじめ厳しい財政環境が続く中、税収の確保は重要な課題となっています。コンビニ収納等を活用した自主納付の拡大や、適正かつ迅速な滞納整理に取り組むとともに、夜間・休日の納税相談窓口の開設など相談機会の充実に努め、市税収入率の向上を図ります。

【目標】 市税収入率 94.5%以上に向上させます

	参考		目標			
	H25 (実績)	H26	H27	H28	H29	H30
市税収入率	93.5%	93.7%	93.9%	94.1%	94.3%	94.5%
中核市平均	94.3%					

※社会保障費…医療や年金、介護、生活保護などの社会保障分野の公的サービスに係る経費のことです。

2 職員に関する重点目標

簡素で効率的な行政組織の確立のために

定数管理の適正化

本市においては、人口千人当たりの職員数が中核市平均を大きく下回っており、福祉・教育等の部門で人員増が見込まれるものの、多様な雇用形態の活用等により、引き続き定数管理の適正化に努めます。

【目標】組織や事務事業の見直し、効率的な人員配置を徹底し、職員定数を適正に管理します

3 協働に関する重点目標

多様化・高度化する地域課題や市民ニーズに市民と協働で対応するために

① 市民や地域との協働の推進

地域課題や市民ニーズに的確に対応していくため、市民や地域の力を生かせるよう、市民団体、学生、ボランティアなど多様な活動主体と連携しながら、ネットワークや協働の仕組みを整備し、さらなる協働の推進を図ります。

【目標】日常生活での支援を必要とする高齢者等に対し、地域で支え合う体制を市民とともに構築する「地域安心生活支え合い事業」の実施地区を拡大します

	参考		目標			
	H25 (実績)	H26	H27	H28	H29	H30
地域安心生活支え合い事業着手地区数(累計)	2地区	2地区	2地区	10地区	18地区	26地区

② 多様な担い手の育成

多様化・高度化する行政課題に的確に対応していくため、市民や地域との協働・連携のもと、担い手を育成し、若者、高齢者、女性など多様な人材を市政に生かしながら、協働の推進を図ります。

【目標】 地域や市民団体間のネットワーク化を推進し、地域課題の解決やコミュニティ活動の活性化を図るため、「かなざわコミュニティ・コーディネーター」を新たに育成します

	参考		目標			
	H25	H26	H27 (新規)	H28	H29	H30
かなざわコミュニティ・コーディネーター育成数(累計)	/		10人	20人	30人	40人

③ 市政情報の発信

市政の透明性を高め、協働を推進するため、市が保有する公共データのオープンデータ化[※]を進めるなど、市政情報を積極的に発信します。

【目標】 市が保有する公共データのオープンデータ化を推進します

	参考		目標			
	H25 (実績)	H26	H27	H28	H29	H30
オープンデータの件数	2,845件	3,500件	3,850件	4,200件	4,600件	5,000件

※オープンデータ化…機械判読に適したデータ形式で、かつ、二次利用が可能な利用ルールでデータを公開することです。